

9月定例記者会見の概要

1 日時 令和4年8月30日(火) 16時30分～17時30分

2 場所 本庁舎3階 第一会議室

3 出席者 <報道機関>

- ① 福島民報社 南相馬支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ② 福島民友新聞社 相双支社 (南相馬記者クラブ会員)
- ③ NHK 南相馬報道室 (南相馬記者クラブ会員)
- ④ 河北新報社 南相馬支局 (南相馬記者クラブ会員)
- ⑤ 読売新聞社 南相馬通信部 (南相馬記者クラブ会員)

計 5 社

< 市側 >

・市長・総務部長

(テレビ会議)

- ・新田副市長・常木副市長・小高区役所長・鹿島区役所長
- ・復興企画部長・復興企画部政策担当理事
- ・市民生活部長・健康福祉部長
- ・健康福祉部新型コロナ対策担当理事・こども未来部長
- ・経済部長・経済部農林水産担当理事・経済部企業支援担当理事
- ・建設部長・総合病院事務部長・教育委員会事務局長

計 18 人

(司会進行) 秘書課長

(会議記録) 秘書課広報広聴係

【市政報告】

皆さん、お集まりいただき誠にありがとうございます。

はじめに、前回8月2日の記者会見から最近までの出来事について報告いたします。

まず、新型コロナウイルス感染症についてです。

市内の感染状況についてですが、お手元の資料「福島県における人口10万人当たりの1週間新規陽性者数の推移」をご覧ください。直近の市内の感染者数は減少傾向となったものの、8月29日までに、1か月の感染者数としては過去最多となる1,386人の感染が確認されるなど、油断できない状況が続いています。

南相馬市では、感染拡大への対応として、PCR検査センターを開設しています。無症状かつ濃厚接触者では無いものの、感染の不安を感じている方は、PCR検査センターを積極的にご利用ください。

また、ワクチン接種も引き続き実施しています。12歳以上を対象とした1・2回目のワクチン接種については、コールセンターで予約を受け付け、市内病院で実施

しています。高齢者等を対象とした3回目、4回目の接種は、9月1日及び3日に実施する予定です。

未接種の方は、ぜひご検討をお願いいたします。

オミクロン株に対応したワクチンについては、国の方針が決まり次第、11月を目前に接種を開始できるよう準備を進めてまいります。

市民の皆様をお願いします。引き続き、基本的な感染対策の徹底をお願いします。特に、発熱や喉の痛み、倦怠感などコロナの感染が疑われる場合には、外出を控えることを徹底してください。

感染を少しでも広げないために、お一人おひとりの更なる意識の高い感染対策の取り組みにご協力をお願いします。

次に、マイナンバーカードの申請推進事業についてです。

現在、国は、マイナンバーカードの普及促進及び消費喚起等を目的として、9月末までにカードを申請された方を対象に、最大2万円分のマイナポイントを付与するキャンペーンを実施中です。

南相馬市では、この機会にマイナンバーカード・マイナポイントの申請をされる方の手続きを支援するため、10月31日まで、市内商業施設に特設コーナーを開設しています。また、ご要望に応じて、市職員が事業所や集会所に出向く出張申請サポート事業も実施しています。まだ、申請をされていない皆様は、ぜひご検討をお願いします。

次に、「ベビーファースト運動」への参画についてです。

8月29日に、南相馬市は、子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会の実現を目指して、公益社団法人日本青年会議所が提唱する「ベビーファースト運動」に参画し、活動宣言として「こども・子育てを本気で応援 南相馬市」を発表しました。

南相馬市では、引き続き、子育て世代への支援や地域全体で子育てを応援するための取り組み等を進めてまいります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

はじめに、デジタルトランスフォーメーションの推進についてです。

南相馬市では、デジタル技術の活用による業務効率化及び行政サービスの向上を図るデジタルトランスフォーメーション、いわゆるDXの推進を目的に、令和4年8月から庁内にデジタル推進本部を設置しました。

9月1日に、専門的知識や技術等を持った外部人材を、新たに委嘱し、体制強化を図ります。今後も、南相馬市のDX化を進めてまいります。

次に、市議会定例会についてです。

9月7日から開会となる第7回市議会定例会に提出する案件は、議案23件、報告4件の計27件を予定しています。

主な案件としては、南相馬市みらい育成修学資金条例の一部を改正する条例、補正予算などとなります。

詳細はのちほど総務部長より説明いたします。

次に、ロボテスエキスポ 2022 についてです。

9月15日、16日に福島ロボットテストフィールドで公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構が主催する「ロボテスエキスポ 2022」が開催されます。皆様に福島ロボットテストフィールドの実験環境とロボットの社会実装に貢献する取り組みを知っていただくため、ドローンやインフラ点検・災害対応ロボットなどの実演や展示等が行われる予定です。ぜひご来場ください。

次に、野馬追の里健康マラソン大会・ウォーキング大会についてです。

12月4日に、第35回野馬追の里健康マラソン大会・第17回ウォーキング大会を開催いたします。現在参加者を募集中で、エントリーの受付は9月15日までとなっております。

大会への参加を通じて、南相馬市内の景色を楽しみながら、気持ち良い汗をかいていただきたいと思います。

私からの報告は以上です。部長からの報告のあと、皆さんからのご質問をお受けします。

【質疑応答】

質問 1：

福島県が国に福島国際研究教育機構の候補地として浪江町を提案するとの報道発表がありました。市長の受け止めと今後の取り組みについて教えてください。

回答 1：市長

南相馬市は、国のイノベーションコースト構想の推進に向けて最適と考える候補地として、小高区を提案しましたが、立地場所に選定されなかったことは残念です。

しかしながら、浜通り、福島の復興、さらなる発展に向け、機構の効果が最大化し、広く波及していくことが極めて大切であり、今後の国や県の取組みを注視してまいります。

南相馬市も引き続き、国や県と連携し、創造的復興の実現に向けて努力してまいります。

質問 2：

9月議会の補正予算にある大悲山石仏保存修理事業について、東日本大震災でも被害を受けたそうですが、今回の修繕の内容について教えてください。

回答 2：総務部長

今回の補正予算で計上しておりますのは、今年3月に発生した福島県沖地震により損壊した箇所修繕となります。本事業は国庫補助の対象となる災害復旧事業となっており、参道の手すり等施設関係の修繕を行います。

以上